

万が一の時は慌てずに行動を！ 5年生で着衣水泳！

5年生最後の水泳学習は、着衣水泳です。14日(火)に行いました。

亀井小学校では、着衣水泳は高学年で実施しており、いざという時に命を守る知識と技術を身につけることをねらいとしています。

早速、服を着たまま水に入り、水を含んだ衣服の重さで体の自由が極端に奪われることを体感しました。また、歩いたり、泳いだりすることで、余計に体力を消耗してしまうことも学びました。最後は救助を待つ方法として、身近なペットボトルを抱きかかえて、水面に浮き続ける練習もしました。水の事故を防ぐため、みんな真剣に取り組んでいました。

万が一の時に、自分の命を守る合言葉「あ・か・う・み」も忘れてはなりません。

＜あ＞慌てない（焦らない） ＜か＞考える ＜う＞浮いて待つ ＜み＞見渡す

今年になってすでに複数件、「水の事故で命を落とした」とニュースで報道していました。それも中学生や高校生が…。

現在、夏休み真っただ中。海や川など水辺に出かける機会も増えることでしょう。今日学んだ「命を守る合言葉」を忘れず、安全に気をつけて楽しい夏を過ごしてほしいと願っています。

